

6月4日、川俣小学校「校歌披露・感謝の会」が開催され、校歌の作詞をした和合亮一さんと作曲をした新実徳英さんを招き、校歌披露・感謝の会が開催されました。児童たちは新しい校歌を目を輝かせながら歌っていました。



1

川俣町立川俣小学校校歌

作詞 和合亮一
作曲 新実徳英



△川俣小学校の6年生が歌った校歌が聴けます！

かわまた	ひかる	風	虹のシルクを	てのなかに雲	橋をかけよう	ひびくやまぎわ	駆けるあしおと	ふるさとの風	川のせせらぎ	ひらくほほえむ	つぼみ優しく	つむごう朝を	こころの丘で
かわまた	うたう	胸に	虹のシルクを	絹おりのおと	きおくのまちに	星をかぞえて	花塚山の	わたろう銀河	せなかに夕日	ひらくほほえむ	かえででのひら	いのちを育て	こころのまゆが

1

2



2



7



3

実は、川俣町は母の生まれ育った町です。そのため川俣町には小さい頃から夏休みや冬休みになるとよく遊びに来ていました。だから私は皆さんと川俣町がとても大好きです。皆さんが生まれ育ったこの川俣町はとても美しい町です。美しい光や川や空に囲まれ、他の人に自慢できる宝石のようなきらめきを持った町で皆さんは過ごしています。そんな皆さんに私から1つお願いがあります。この校歌を好きになって、元気良く、誇りをもって「これからの人生を生きていくんだ」という思いを込めて歌ってほしいと思います。

福島県福島市出身。高校で国語の教師を務める傍ら、詩人として福島の想いを詩で発信し続けており、国内外から注目を集めている。また、ラジオパーソナリティとして活動するなど幅広い分野で活躍している。



わごうりょういち
和合 亮一 さん

心に響く新・川小校歌



1. 歌詞のポイントを説明する和合亮一さん
2. 校歌披露・感謝の会に先立ちライオンズクラブから寄贈された校歌額が披露された
3. マスクを着けながらも大きく口を開け歌う児童
4. 新実徳英さんの指導のもと6年生が校歌を練習した
5. 児童代表による御礼の言葉と花束贈呈
6. 校歌の指導をする新実徳英さん
7. 新実徳英さんと指導を受ける児童たち



にいみ とくひで
新実 徳英 さん

今回、川俣小学校の校歌の作曲依頼をいただいたことはとても光栄だと思っていました。そして、それに伴い大きな責任を感じています。それは校歌がその学校にはひとつしかないものだからです。校歌は厳粛なもののようなイメージがありますが、私は「みんなが歌う校歌は楽しい曲がいい」と思っています。そのため、今回は「廊下や通学路で口ずさんでもらえるような歌になれば」と思って作曲しました。和合さんも私も今日は皆さんがどんな風に校歌を歌ってくれるか楽しみにしてきました。皆さんの元気な歌声を響かせてください。

愛知県名古屋市出身。東京大学工学部卒業後、東京藝術大学卒業および同大学院修了。現在、桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授。オペラや管弦楽曲、合唱曲など多くの曲を作曲し国内外で高い評価を得ている。